

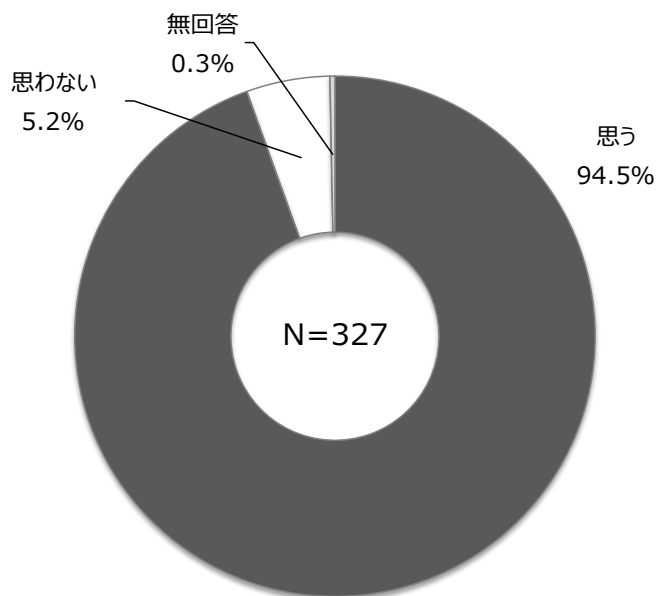
## II. 事業参加後に行った取組について(a. 事後活動参加者向け)

### 4. 北方領土をテーマにした取組の継続意向 (Q10)

9割以上が継続意向を示す結果となった。

一方、継続したいと思わない理由としては、「時間的な余裕がなくなってきた」、「取り組む機会がない」といった点が挙げられた。

Q10. あなたは北方領土をテーマにした（関連した）取組を今後も継続したいと思いますか？



<北方領土をテーマにした取組の実施状況別：継続意向>

	全体	思う	思わない	無回答
全体	327	94.5%	5.2%	0.3%
SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、TikTok、YouTubeなど）での情報発信	68	97.1%	2.9%	-
手紙、年賀状などへの記載	11	90.9%	9.1%	-
友人・知人、学校・職場・地域の人などとの集まりや会話での話題提供	202	98.0%	2.0%	-
学校・大学の授業・行事、職場、所属団体などでの報告・発表等	213	94.4%	5.6%	-
自治体の行事・広報誌などへの協力	22	100.0%	-	-
新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどを通じた情報発信	21	95.2%	4.8%	-
署名活動への参加、開催	80	98.8%	1.3%	-
その他	32	93.8%	6.3%	-
無回答	5	80.0%	-	20.0%

## Ⅱ. 事業参加後に行った取組について(a. 事後活動参加者向け)

北方領土をテーマにした取組を今後も継続したいと思わない理由	件数
どのように活動してよいか分からない	5
何をどうすればいいのかが分からないから	
これからどのようなことを中心に取り組んでいけば良いのかが分からないから	
活動する時間がない	2
時間的な余裕がなくなってきたから	
活動する機会がない	2
発信する場も機会も足りていないため	
その他	5
問題意識を持つことは重要だが、個々人の影響力には限界があると思うため	
年齢的な理由	
私にできることはそれなりにしたと思う。また、記憶も薄れつつあるため	
視察に参加した時に、当時の環境、自然について、十分に学ぶことができたから	